

団体名:かさでら図書館運営委員会！

古本市



■活動の内容

かさでら図書館運営委員会！は、町の本屋が減少し本に触れる機会が減っている中で、本との出会いの場づくり、本を介しての人と人・人と地域の繋がりづくりを目指して発足した団体です。今回は、笠寺観音 大功德日九万九千日（この日にお参りすると99000日分の功德を積めるといわれる日）に合わせ図書館前で開催した古本市を視察しました。

- 日 時 令和6年8月9日(金)18時30分～21時
- 場 所 かさでら図書館(南区・笠寺学区)
- 活動名 つなげたい！ 人×本×まち
- 内 容 古本市
- 参 加 小中学生ほか

笠寺観音の入口周辺には出店が並びます。



かさでら図書館は、笠寺観音の参道に位置する一箱本棚コーナー制の私設図書館です。普段は腰掛けるスペースに古本を設置し、店先には冷たい飲み物も準備。猛暑日ということもあり、取材中も小学生の子たちが「飲み物買っていいですか〜？」とやって来ていました。暑さのピークが過ぎると、古本も店先に移動。大量の本とバケツいっぱいのペットボトルが並ぶ参道はなんともにぎやか。

↓桜台高校スペースの横には名古屋都市センター機関誌「アーバン・アドバンス」も。ありがとうございます！



古本市では文庫本が破格の100円で売られていたり、オーナー自らが設定した値段で販売しているものがあったりと本好きにはたまらない空間。図書館スペースには同じく南区にある桜台高校の漫画創作部の部誌を配架し、オリジナルのポップや感想ノートなども設置しています。本を媒体に、笠寺エリアだけでなく広い範囲で交流やつながりが生まれているかさでら図書館。活動は2年目とまだ新しい団体ですが、「本を介して人と人、人と地域の繋がりづくりをしたい」という団体の思いが着々と実を結んでいることが感じられるイベントでした。